

目標達成計画

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---------------------------------------|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 49 | 気分転換やストレス発散・五感刺激の機会として外出の活用、屋内だけで過ごすことは周辺症状の増悪や体調不良に陥りやすくなる。短時間でも戸外に出る機会を作り、日々の中で生かして行く事を期待したい。 | 利用者個々に合わせた外出・屋外活動の支援を実施する | <ul style="list-style-type: none"> ご家族やご友人から協力いただいている方の外出支援を継続していく 曜日を決めて屋外でのお茶会を実施する 花見を初めとして季節に合わせた節目々々の外出や園庭での活動(野菜作り・収穫、花の手入、草取り)など今後も継続して取り組んでいく 近隣の小学校の運動会などの行事を見学したり、公園に出かけたりと散歩の機会を計画的に作る | 6ヶ月 |
| 2 | 34 | 意識不明等の対処方法、救急救命法の学習や訓練、その後の連絡や対応方法と職員の勉強会、実技、体験、体得、修得することは多い。一つずつ実習しながら不安感のない介護が出来るよう期待したい。 | 定期的な研修会の開催を行い、職員の知識・意識を高めていく | <ul style="list-style-type: none"> 急変時の対応方法の勉強会を行ったり、事故発生時、急変時のシミュレーションの研修を開催など、研修担当が企画していく 消防隊による実技・研修も継続し実施していく | 12ヶ月 |
| 3 | 35 | 災害も火災・地震・台風・水害・大雪など想定しての確実な避難誘導が出来る様に職員と利用者・地域住民の人々一緒に年間を通して、訓練を定期的にも実施されることが望まれる。 | 職員と地域住民の協力により災害時の避難誘導が安全に行なえる | <ul style="list-style-type: none"> 防災担当が多種多様な災害に対しての避難訓練を企画し実施していく 地域へは回覧板やニチイ便りを通じて広報し参加協力を頂く | 6ヶ月 |
| 4 | 33 | 事業所の力量や体制が重度化や終末期を支えていけるか見極めて、対応しえる最大のケアで安心して納得した最後が迎えられる様、方針の統一を図っていくことが望まれる。 | ご家族・利用者の意向を確認して、職員間でホームでの方針の統一を周知していく | <ul style="list-style-type: none"> 入居時や訪問看護導入時にホームの体制をご家族に説明していますが、今後は更にケアプランの説明時やサービス担当者会議の出席に時に再確認を行なっていく 上記で確認した内容を記録し、職員全員が把握していく | 12ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |